

方剂名	効能	生薬組成
書籍	主治および証	病機 方意

祛痰剂 潤燥化痰剂

ばいもかるさん
貝母栝楼散

潤肺清熱・理気化痰

貝母 5g・栝楼 3g・天花粉・茯苓・陳皮・桔梗各 2.5g
水煎し服用する。

医学心悟

<主治>

肺燥有痰

咽喉の乾燥、咽痛、むせるような咳嗽、粘稠で喀出しにくい痰、少痰、呼吸促迫、舌の乾燥、脈がやや数などを呈する。

<病機>

燥熱の邪が肺を犯し津液を灼して痰を生じ、燥痰が肺気上逆を引き起こした状態である。

燥熱により肺津が不足し肺系も乾燥するために、咽喉の乾燥、咽痛、むせるような咳、少量粘稠で喀出しにくい痰、舌の乾燥がみられ、肺気上逆による咳嗽、呼吸促迫を伴う。脈がやや数は、燥熱を示す。

<方意>

潤肺清熱すると共に化痰する。

清熱潤肺、化痰止咳の貝母が主薬で、痰結を開通する。清熱潤燥、理気化痰の栝楼は胸膈の痺塞を通じ、清熱生津の天花粉と宣肺利咽の桔梗で排痰を促進する。健脾利湿の茯苓と理気化痰の陳皮は、脾胃を和して生痰を防止する。全体で肺燥を潤し肺熱を清し痰を除くことができる。

<参考>

本方（貝母栝楼散）は、二陳湯から温薬の半夏と甘草を除き、清潤の貝母・栝楼・天花粉・桔梗を加えて、燥湿化痰から清潤化痰に変化させている。

加減法

咽乾、咽痛が強いときは、麦門冬・玄参を加える。

喉の痒痒感があるときは、前胡・牛蒡子を配合する。

嗄声、痰に血が混じるなどには、陳皮を除き沙参・阿膠を加える。

<医学心悟>の類中風篇に、もう一種類の貝母栝楼散があり、本方の天花粉・茯苓・桔梗を除き、胆南星・黄芩・黄连・黒山梔子・甘草を加えており、痰火上壅の類中風（脳血管障害）に適している。